



藤岡市では市民・行政協働による 市民討議会を開催しています。

藤岡市民討議会実行委員 田口 勇夫

2008年度から始まった「市民討議会」は2013年に6回目を開催する事ができました。この討議会は市民対象に無作為抽出で1000名に案内し、その中から希望者約30名(年度によって参加人数は異なる)が集い、自分たちの暮らす地域の事柄について自由な意見を交わし、『自分たちの意見を創り上げて意識を共有＝合意形成』していきます。討議結果は年度ごとに討議会の報告書を作成し、市長へと提出され市政の一助として貢献しています。



【写真左：市長や職員を交えての実施報告書提出会の様子】



【写真右：昨年度の市民討議会グループ発表の場面】

『「協働」の理念』

この会議は行政と藤岡市青年会議所、それに一般市民有志で結成される「実行委員会」によって「協働の理念」に基づいて運営されています。

これまでの「市民討議会」で提案された意見の市政に反映された例としては…『正確な情報伝達の実施』という意見から●防犯・防災に関する情報やイベント・医療などに関するお知らせを携帯電話やパソコンのメールアドレスに配信する「ふじおかホットメール」。●防災マップ(地震防災・洪水ハザードマップ)の配布。この他にも、まずは自分たちの住んでいるところをよく知ろうという発想から●「ふじおか再発見ツアー」も行われ、大変好評でした。これらの結果は市民討議会のホームページ(<http://www.fujioka-togikai.org/>)や藤岡市ホームページの企画部企画課内、市民討議会のページで見ることができます。是非一度ご覧ください。



※ファシリテーション型会議とは研修を受けたファシリテーターが会議全体を進行していく手法です。その会議の様子はお菓子を食べながらとても和やかに進んでいきます。だから普段あまり意見を言えない人にも優しい会議です。



〔進化していく市民討議会〕

左の写真は市民討議会をより限定した地域で行う、サロンの様子です。名付けて「e-戸端会議」。この地域密着の会議は市民討議会で議論された結果を受けての開催となりました。幅広い年代の方で賑やかに開催されていますよね。

さらに市民討議会の研修を通じて交流のあった釘山健一氏率いる「会議ファシリテーター普及協会」の藤岡支部が有志により設立されました！

支部では県内外のまちづくり会議や団体での会議進行をお手伝いし、ファシリテーターの普及を促進しています。以下の連絡先までご連絡ください。

<http://www.mfa-fujioka.zone-f.jp/>
メール info@zone-f.jp (代表田口まで)

